

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第207号

令和5年12月13日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

「青少年のためのロボフェスタ 2023」 特集号

11月23日(木・祝)に青少年センター(横浜・紅葉ヶ丘)を会場に「青少年のためのロボフェスタ2023」を開催いたしました(子どもサイエンスフェスティバル横浜大会同時開催)。「青少年のためのロボフェスタ」は、平成17年より始まり、ロボットなどの科学技術を通して、子どもたちの科学体験活動を推進し、科学技術に対する興味や関心を喚起する目的で開催しており、新型コロナウイルス感染症等の影響により、4年振りの開催となりました。

当日は来場者1,024名(青少年523名、保護者等501名)の他、高校生ボランティア17名、アシスタント7名、出展者69名の計1,117名と多くの方が参加してくれました。また、当日は二足歩行ロボット協会による第2回新 ROBO-剣大会も開催され、「青少年のためのロボフェスタ2023」と合わせて1,247名の来館者で賑わいました。

どのブースも大賑わいで子どもたちの楽しそうな笑顔にあふれたイベントとなりました。

ご参加いただいた皆様、そして出展団体の皆様に感謝申し上げます。



他にもたくさん体験をご用意してお待ちしております！

〈出展団体(予定)〉

大学
神奈川県立神奈川大学、神奈川大学、東京工業大学、横浜国立大学
高校
県立平塚工業高等学校、県立磯子工業高等学校(定時制)、県立向ヶ丘工業高等学校(定時制)
企業等
日産自動車株式会社、日産が電機株式会社、株式会社ロボテック、はまなまこども宇宙科学館(一社) 横浜すぱいず(一社) 二足歩行ロボット協会(非営利) 出展者 株式会社MANO(企業)/ロボットゆうえんち、ロボテラス / (公財) 湘南産業振興財団

プログラミング 電気工作
探検体験 SDGs

青少年のためのロボフェスタ 2023 入場無料 予約不要

2023年11月23日(木・祝)
10:00~15:30 入退場自由
【会場】神奈川県立青少年センター(横浜・紅葉ヶ丘)
【対象】小学生~高校生(どなたでもご入場いただけます)

詳細はこちら
青少年センター 科学部 検索 はこちらからご覧いただけます

主催/神奈川県立青少年センター
協賛/子どもサイエンスフェスティバル実行委員会、神奈川県立青少年科学体験活動推進協議会、神奈川県教育委員会
後援/横浜市教育委員会、神奈川県立神奈川大学、I.V.K.

お問い合わせ先：神奈川県立青少年センター科学部 Tel 046-222-6371

子どもサイエンスフェスティバル横浜大会 同時開催



1階入り口の様子
10時の開場前から来場者が列を作っていました。日産の電気自動車の展示や神奈川大学による宇宙エレベーターのデモもあり、多くの方が来館してくれました。



「電気自動車を見てみよう！」(日産自動車株式会社)
「アリア」を入り口付近に展示していただきました。災害時などでも蓄電池として活躍が期待され、「走る蓄電池」としての機能に来場者は興味を持っていました。



「未来の輸送手段！？ 宇宙エレベーターの展示」（神奈川県立神奈川大学）

青少年センター入り口手前で宇宙エレベーターの展示と実演をしてくださいました。これを見て来場された方も多くいました。

1階受付

当日はアシスタントをはじめ、神奈川県庁の関係部署からも応援があり、多くの来場者に対応することができました。



「サッカーロボットを操縦しよう！」

（東京工芸大学）

サッカーロボットを操縦して、的めがけてシュート！子どもたちは大興奮でした。



「ロボットゆうえんち出張操縦体験」

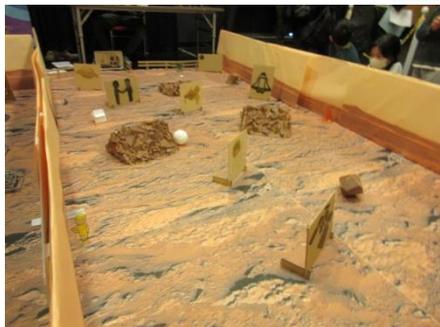
（ロボットゆうえんち）

アトムが歌ってお出迎え。パイロロボットの操縦体験が楽しめました。



2階「スタジオHIKARI」及び「交流スペース」の様子

お昼近くには多くの来場者で、2階は大盛況でした。



「探査ローバーロボットの操縦体験」

（磯子工業高等学校定時制・向の岡工業高等学校定時制）

探査ローバーロボットを操縦して、惑星探査の疑似体験に子どもたちは夢中でした。コースの作りが素晴らしかったです。



「ロボテラスを楽しもう！」

(ロボテラス／(公財) 湘南産業振興財団)

非接触式 AR 室内トレーニングマシン「DIDIM」(ディデム)の体験や、LOVOT(らぼっと)との触れ合い体験に子どもたちはとても大喜びでした。

「平工遊園地」

(平塚工科高等学校)

電気部が様々な展示で子どもたちを楽しませてくれました。不思議な展示物や触って楽しめる展示物に子どもたちは興味津々でした。



「プチロボで競走しよう！」

(青少年センター科学部)

プチロボの操縦体験コーナーでは、実際に「プチロボで競走しよう！」で使用するコースを使い、子どもたちがタイムアタックに挑戦しました。



「ロボットでモノを動かそう！」

(青少年センター科学部)

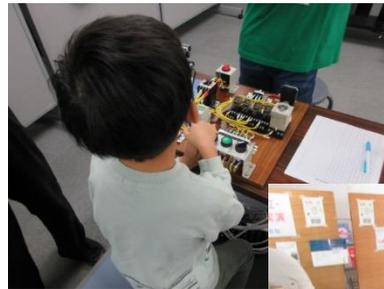
mBot 2 というロボットにプログラミングで指示をし、指定されたモノを動かす体験をしました。子どもたちは試行錯誤し、課題に挑戦しました。



「micro:bit (マイクロビット) で火星探査車を操縦」

(はまぎん こども宇宙科学館)

火星探査車を操縦し、火星の探査の疑似体験をしました。子どもたちの楽しそうに操縦する姿が印象的でした。



「電子工作組立・電気回路の実演」

(トヨタ電気株式会社)

音を鳴らすことにより LED ランプが光を放つアウトライトを組み立てたり、電気回路、制御回路に触れたりすることで、子どもたちのものづくりへの興味・関心を引き出しました。



3階の様子

3階では横浜国立大学、横浜すばいす、株式会社ロボテナ、日産自動車株式会社、神奈川工科大学の出展があり、このブースも多くの人であふれていました。整理券もあつという間になくなりました。



「医療福祉を目的としたサイボーグロボット技術 (横浜国立大学)」

筋肉を動かす生体信号を制御に用いる電動義手の体験や、人の手のように動かせる手術支援ロボットの実演など、人を助けるロボットの技術に触れることができました。



「簡単プログラミングとロボット夢体験！」 (横浜すばいす)」

mBot（小型車型ロボット）を参加者のスマホやタブレットにダウンロードしたアプリでプログラミングして動かす体験やドローンの実演飛行などに子どもたちの目が輝きました。



「ロボット操縦体験&教育向け工作パーツ展示 (株式会社ロボテナ)」

子どもたちはカメラの映像を見ながらのロボットの操縦体験を楽しんでいました。ブースではロボット競技や学校教育向けの工作キット・パーツの展示も見ることができました。



「日産わくわくエコスクール」

(日産自動車株式会社)

実験を通して地球温暖化や電気自動車の仕組みを楽しく学ぶことができる教室で大人気でした。子どもたちは教材として使ったリーフモデルカーを持ち帰ることができとても喜んでいました。



「レゴマインドストームクイック体験」(神奈川工科大学)

レゴのロボット、レゴマインドストームをプログラムで動かす体験に子どもたちは真剣な表情で取り組んでいました。レゴを使ってプログラミングの基礎を学ぶ体験ができる大人気のブースでした。



「新ROBO-剣(大会の観覧、操縦体験)」(二足歩行ロボット協会/新ROBO-剣出場者)

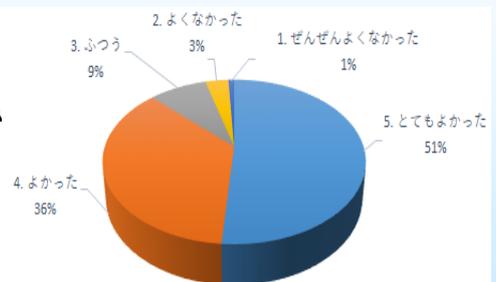
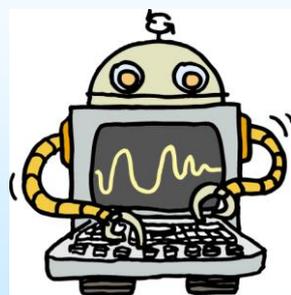
同時開催で、1階ホールではロボット同士が剣で戦う「新ROBO-剣」の大会が行われ、来場者はロボット同士の熱いバトルの観覧と、その操縦体験に興奮していました。

来場者の声

来場者のアンケートによる満足度調査の結果は下のグラフの通りです。

473 名の方がアンケートに回答してくださり、「とてもよかった」、「よかった」という回答を合わせると 87%でした。「よくなかった」、「ぜんぜんよくなかった」の声もありましたが、主な理由は混み過ぎていてあまり体験ができなかったことや、整理券がもらえなかったことに対するものでした。出展してくださった皆さまのお陰でとても魅力のある「青少年のためのロボフェスタ 2023」を開催することができました。

改めまして出展者の皆さまに感謝いたします。



事務局から

久しぶりの紅葉ヶ丘会場を使用した単独開催でのロボフェスタでした。どのくらい人数が来場するかも予想が付かず、会場の割振り等、担当が苦労していましたが、出展者の皆さまのご協力により、想定以上の来場者数があり、子どもたちの笑顔に喜びを感じることができるイベントとなりました。子どもたちの科学への興味・関心を育むために、今後ともご協力をお願いしたいと思います。

(事務局:奥村、山田、上田、山口)